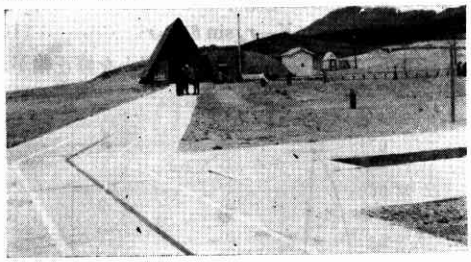
IIS NEWS

☆ 2段式カッパ飛しょうす ☆

カッパ・ロケットの第3次（32年度第1次）飛しょう実験は，32年4月～5月，秋田実験場で行われた．今回打ちあげたロケットは，128 J と 220B とを，つないだ2段式ロケットで切断しないⅡ型を1機と，切断後，更に 128 J のエンジンの働くⅢ型を1機合計2機で，Ⅱ型には，レーダ，Ⅲ型には，テレメータとレーダ，また光学観測系は，両型について追跡を行った．またこの実験



写真は，今回完成したロケット運搬路で，長さ 80m 前方三角の建物は，準備室．画面を横断するコンクリートは，可動式ランチャーの据えられるところで右方のみぞは噴射溝である．

で保留したⅢ型1機は6月中に打ちあげる計画をたてている．

☆ 講　　演 ☆

◇教授　浅原照三「石油化学工業における二，三の問題」石油連盟石油化学研究会において（1957. 2. 27）

☆ 寄　　稿 ☆

◇助教授　丹羽　登「超音波工業計測」日本音響学会誌 **13**. 1. 21（1957）

◇教授　浅原照三　助手　高木行雄「ガス・クロマトグラフ（Ⅱ）」油化学　**6**　108～112（1957. 3）

☆ 学位取得 ☆

◇技官　藤森栄二（第4部）は，理学博士の学位を取得された．（1956. 10. 17付）

◇助教授　千々岩健児（第2部）は，「鋳造における湯の流れに関する研究」により東京大学より工学博士の学位を受けた．（1957. 1. 13付）

◇助教授　松下幸雄（第4部）は，「鉄鋼製錬における溶融スラッグの物性並びに反応性に関する研究」により東京大学より工学博士の学位を受けた．（1957. 3. 22付）

☆ 生産所員海外渡航状況 ☆

◇井口昌平助教授（第5部）は，来る4月27日，羽田発エール・フランス機で渡仏する．フランス政府技術協力給費留学生として約1年間イゼール県グルノーブルのドオフィネ水理学研究所およびグルノーブル大学において水工学に関する研究を行い，この分野のフランスにおける研究状況を視察する予定である．

IIS NEWS

筆者紹介

△谷　安正　本所所長
△高木　昇　教授　工博　専攻　通信機器学
△黒川　兼行　助手　専攻　超短波工学
△永友　英也　臨時筆生　専攻　通信機器学
△山下不二雄　日本電気株式会社　研究部
△瓜本　信二　明星電気株式会社
△野村　民也　助教授　専攻　電気計測・電気制御
△倉茂　周芳　明星電気株式会社
△大井　克彦　日本電気株式会社
△佐伯　昭雄　同　上
△麻生　進　同　上
△松野　四郎　湯浅電池株式会社
△住本　捨夫　同　上
△須田　徳蔵　雇員　専攻　超短波工学
△高橋　健一　日本電気株式会社
△吉山　巌　技官　専攻　ロケット工学
△中村　巌　技術研究生　専攻　同上
△池田　健　教授　工博　専攻　材料力学・構造力学
△富田　文治　助手　専攻　応用弾性学
△森　大吉郎　助教授　専攻　材料力学・機械振動学
△荘司　敦　明石製作所
△山本　尚志　臨時筆生　専攻　電気計測・電気制御
△糸川　英夫　教授　工博　専攻　ロケット工学
△井上　俊夫　技術研究生　専攻　同上
△山口　藍男　東京計器株式会社
△二宮香二郎　同　上
△日沖　松美　同　上
△丹羽　登　助教授　工博　専攻　通信機器学・超音波応用
△高中　弘澄　助手　専攻　電気制御工学
△横田　和丸　技官　専攻　溶接工学
△市川　初男　雇員　専攻　通信機器学
△植村　恒義　助教授　専攻　光学機器学
△伊藤　寛治　助手　専攻　同上
△戸田　健次　理工研研究生　専攻　同上
△中西　公弘　技術研究生　専攻　同上
△竹林　勇　理工研研究生　専攻　同上
△西村　明夫　千葉工業大学学生
△伊藤　房江　臨時筆生　植村研究室
△山本　芳孝　雇員　専攻　光学機器学
△近江　久行　千葉工業大学学生
△山谷健二郎　技術研究生　専攻　光学機器学
△内藤　茂　同上　専攻　同上
△下村潤二朗　本所事務官
△猪瀬　博　助教授（工学部）工博　専攻　電子工学
△石橋　泰雄　助手　専攻　通信機器学
△松永　正久　助教授　専攻　精密加工学・電子顕微鏡・電子回折

編集委員
編集委員長　渡辺　要
編集委員　鳥飼安生　森大吉郎　高橋安人
編集委員　※水町長生　石原智男　藤高周平　※野村民也　山辺武郎
編集委員　野崎　弘　原善四郎　三木五三郎　勝田高司
専門委員　星野昌一
編集幹事　下村潤二朗
編集室　水野晴明
※印当番委員

第9巻　第4号　　生　産　研　究　　（本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として，毎月1回発行する）
1957年4月1日　発行
編集者　渡辺　要　　印刷者　三美印刷株式会社　東都都千代田区神田多町2の7
発行者　谷　安正　　発行所　東京大学生産技術研究所　千葉市弥生町1　電話千葉366～370